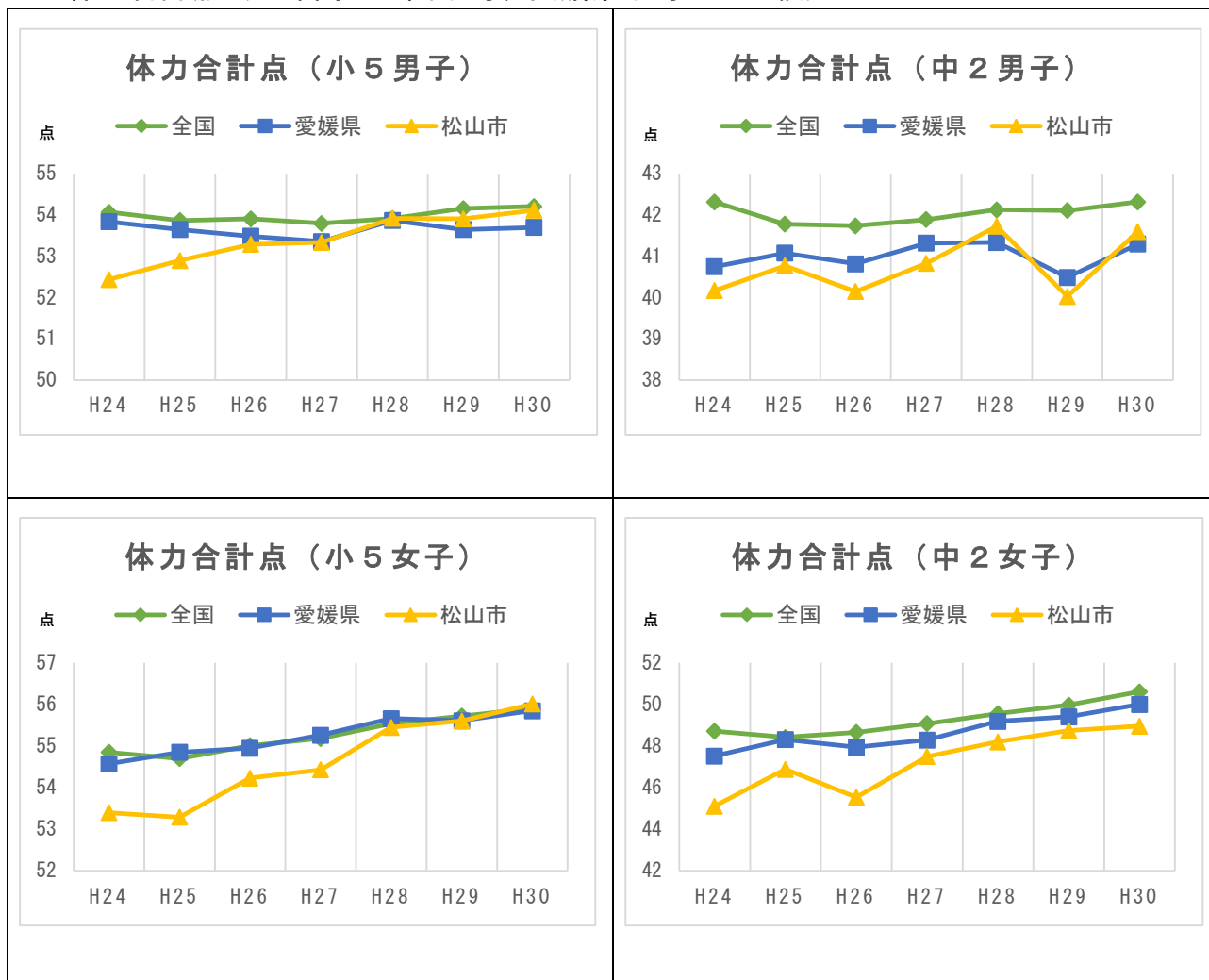


# 平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析

松山市教育委員会

## 1 体力合計点（7年間の全国平均、愛媛県平均との比較）



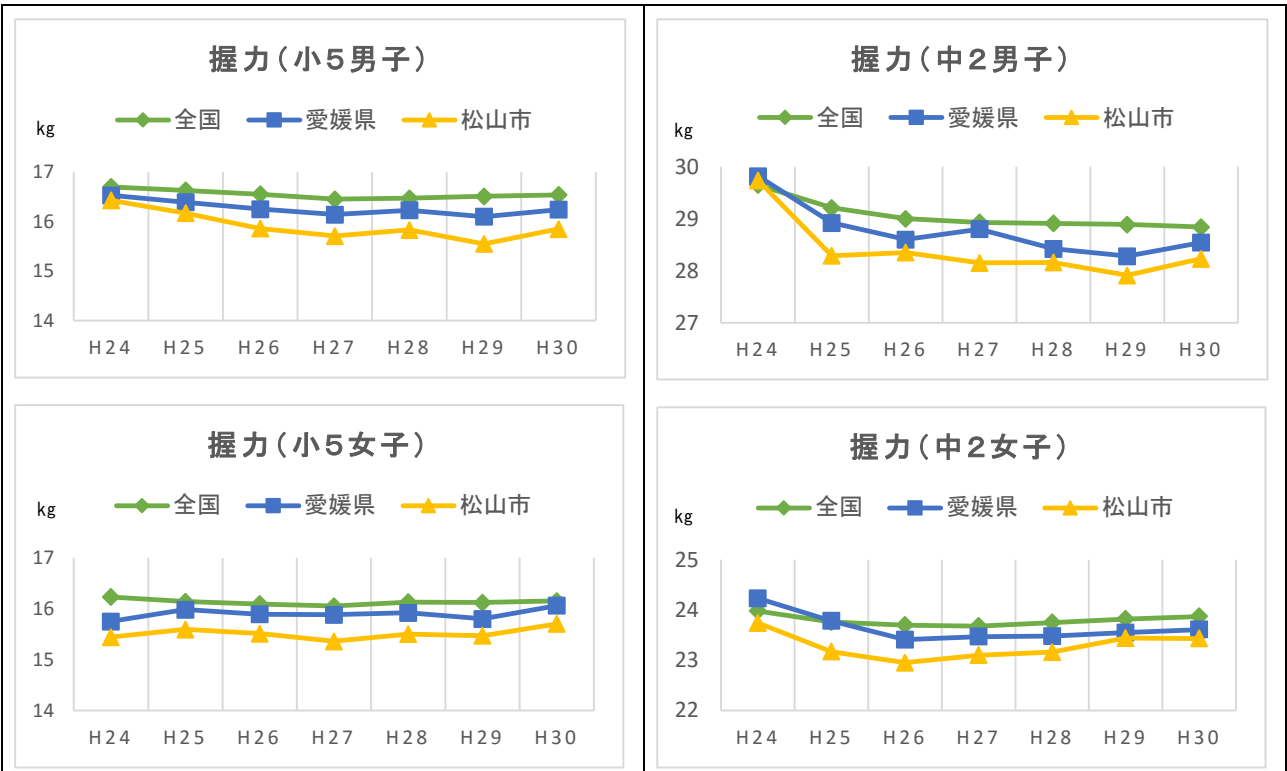
### 小学校5年生

- 男女ともに小学生の体力は向上傾向が続いており、これまでの最高値を示す結果となりました。愛媛県平均を上回るだけでなく、特に女子に至っては、初めて全国平均をも上回りました。また、男子も全国平均まであと0.09ポイントに迫っています。
- 本市の小学校には、本調査対象の5年生だけではなく、全学年全学級での実施をお願いしています。毎年度の継続的な実施に伴い、子どもたち自身が体力の現状把握と目標設定を意識して運動に取り組んでいることが体力の向上につながっているものと思われまます。また、本市が独自に導入しているパーフェクト自己新記録賞も意欲づけに有効に働いているものと考えています。

### 中学校2年生

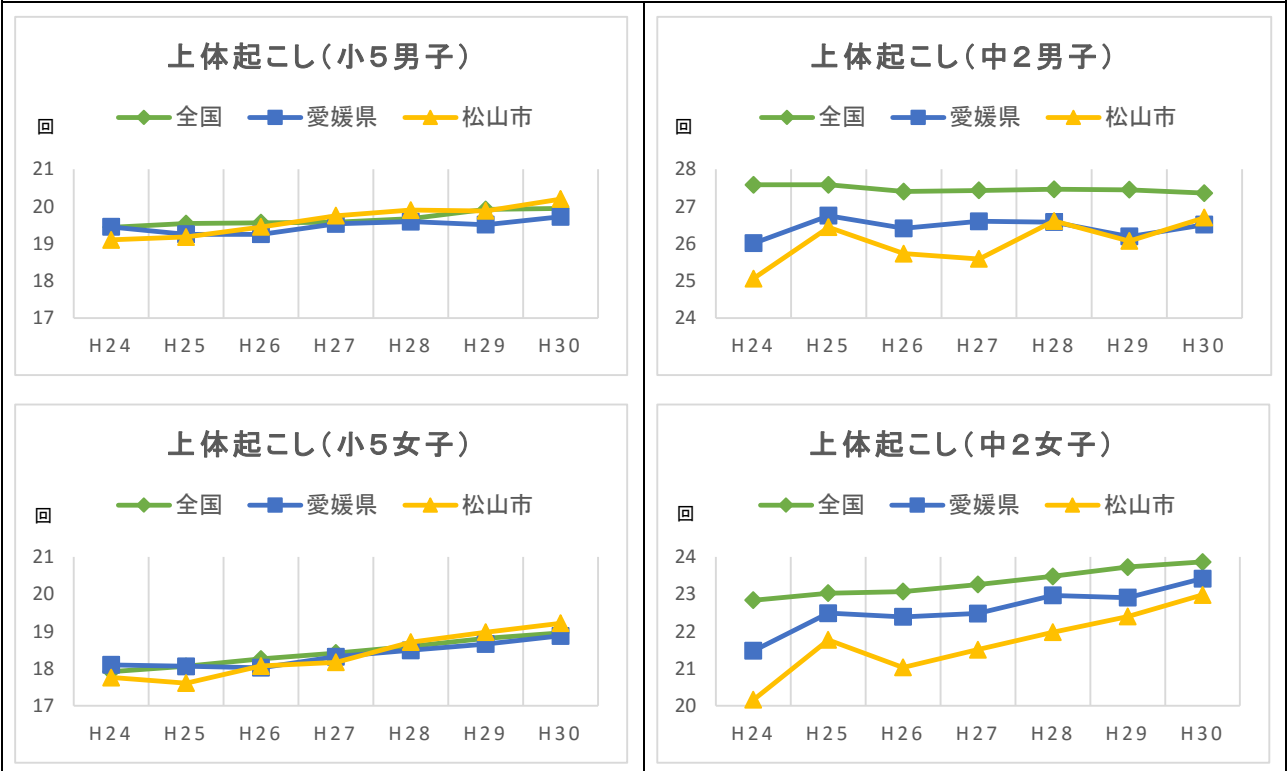
- 男女ともに中学生の体力は向上傾向が続いており、昨年度は落ち込んでいた男子の数値も、今年度は愛媛県平均をも上回るよい結果となりました。また、女子においては、これまでの最高値を示す結果となり、順調に体力の伸びが見られます。
- 中学生においては、小学生以上に体力の二極化傾向が課題となっており、運動部活動や地域のスポーツクラブ等で積極的に運動に励む生徒と、保健体育の授業以外ではほとんど運動をしない生徒に分かれる等、運動習慣の二極化がその要因であると考えられます。これまで以上に日々の保健体育授業を充実させ、日常生活での運動の習慣化を図っていく必要があります。

## 2 種目別記録（7年間の全国平均、愛媛県平均との比較）



### <握力>

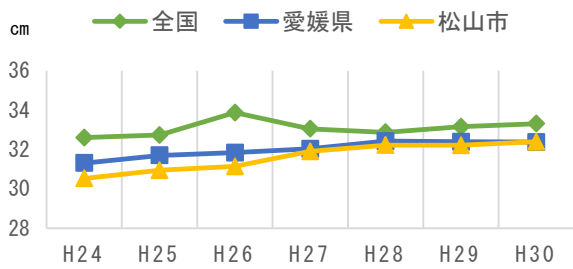
小中学生ともに全国平均及び愛媛県平均を下回っており、本市の小中学生の体力における大きな課題となっています。しかしながら中学生女子以外はやや向上傾向が見られ、昨年度よりも全国平均との差が縮まる結果となりました。



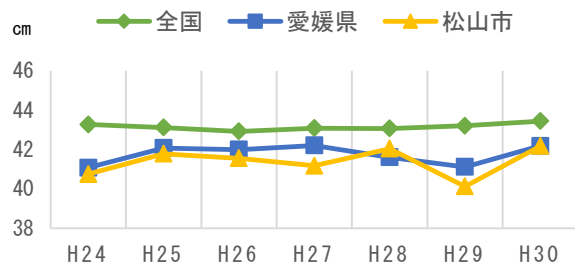
### <上体起こし>

小中学生ともに向上傾向にあり、順調に体力の伸びが見られます。特に、小学生に至っては全国平均及び愛媛県平均を上回る結果となり、大きな伸びが見られました。また、中学生においても、全国平均との差が縮まる結果となりました。

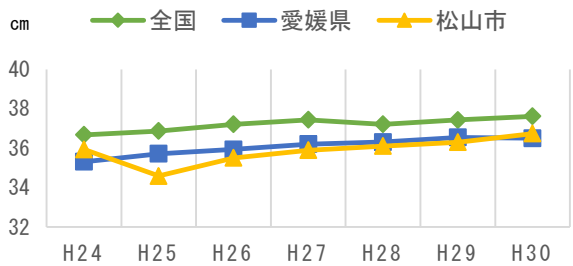
長座体前屈（小5男子）



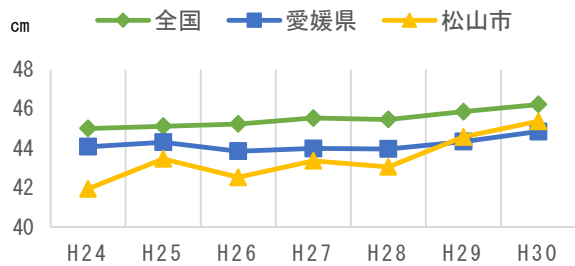
長座体前屈（中2男子）



長座体前屈（小5女子）



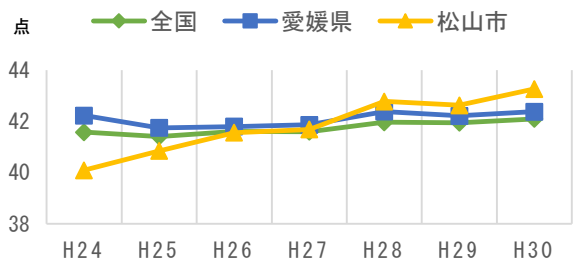
長座体前屈（中2女子）



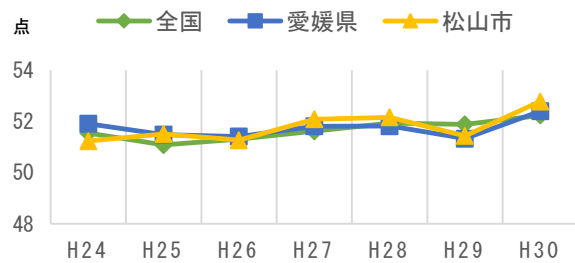
<長座体前屈>

小中学生ともに向上傾向にあり、中学生男子以外は、愛媛県平均を上回る結果となりました。昨年度は落ち込んでいた中学生男子においても、全国平均との差が大きく縮まる等、全体的に見て、本市の小中学生の柔軟性は高まってきていると言えます。

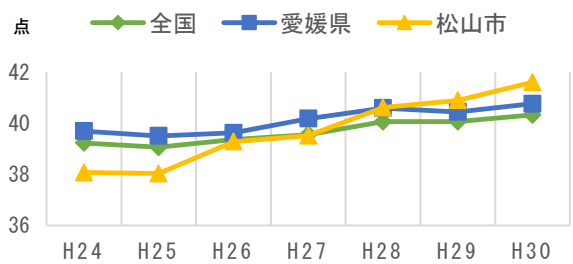
反復横跳び（小5男子）



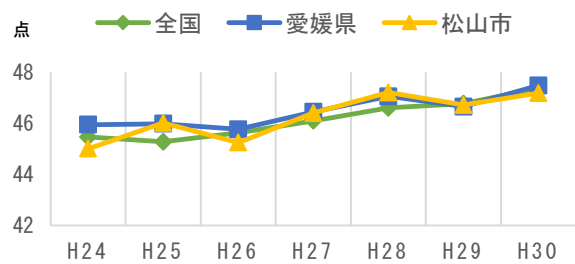
反復横跳び（中2男子）



反復横跳び（小5女子）



反復横跳び（中2女子）

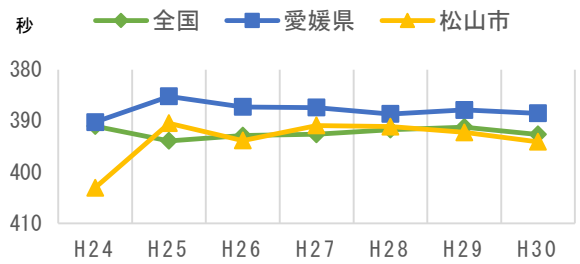


<反復横跳び>

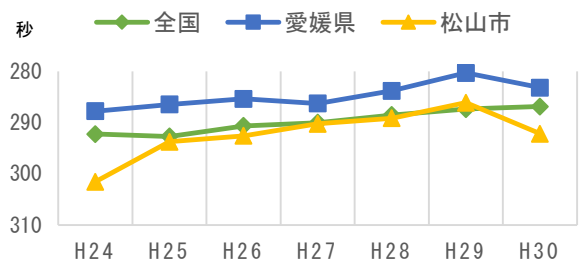
中学生女子以外は、全国平均及び愛媛県平均を上回っており、本市の小中学生は敏捷性に優れていることが分かります。昨年度はやや落ち込んでいた中学生についても、保健体育科の授業での取り組みを中心に、十分な水準まで回復することができました。

小学生の実施はありません。

持久走（中2男子）



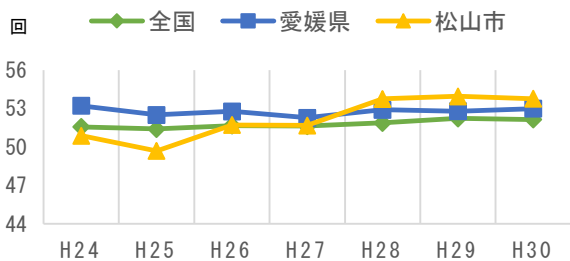
持久走（中2女子）



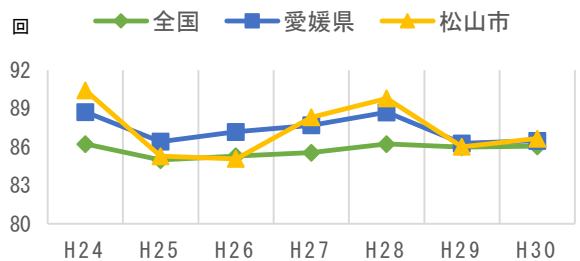
<持久走>

選択制であるため、本市の中学校では29校中22校が実施をしています。男女ともにやや低下しており、持久力の向上が課題と言えます。今後、生涯を通してスポーツに親しむ態度の育成を見据えて、これからも向上を図りたい項目です。

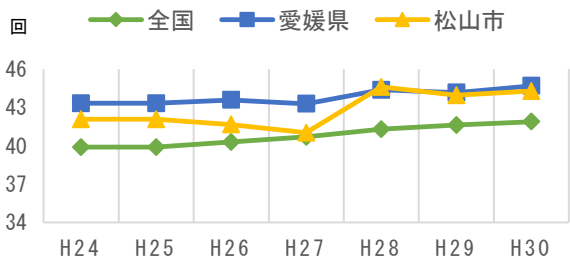
シャトルラン（小5男子）



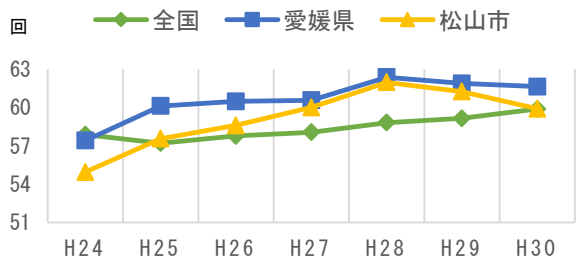
シャトルラン（中2男子）



シャトルラン（小5女子）



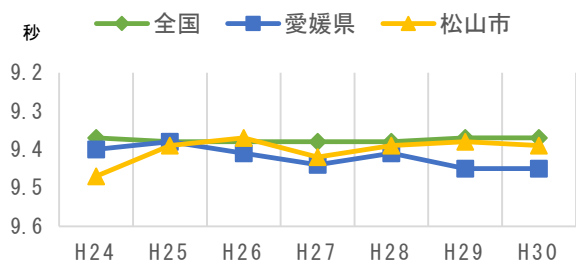
シャトルラン（中2女子）



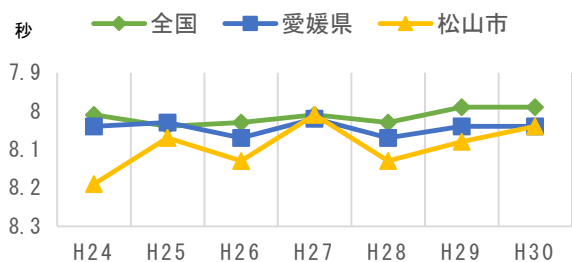
<20mシャトルラン>

小中学生ともに全国平均を上回っており、本市の小中学生は持久力に優れていることが分かります。しかしながら、横ばいや低下傾向が見られるため、今後、生涯を通してスポーツに親しむ態度の育成を見据えて、これからも向上を図りたい項目です。

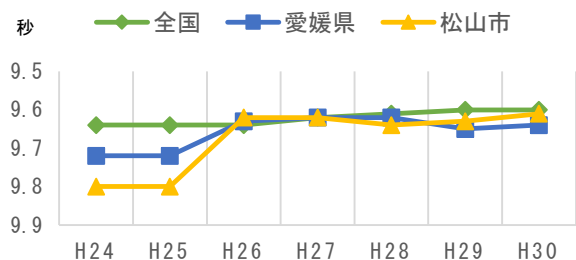
### 50M走（小5男子）



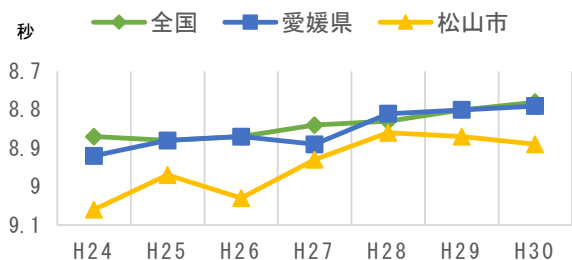
### 50M走（中2男子）



### 50M走（小5女子）



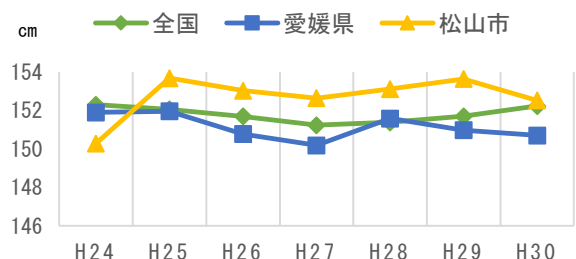
### 50M走（中2女子）



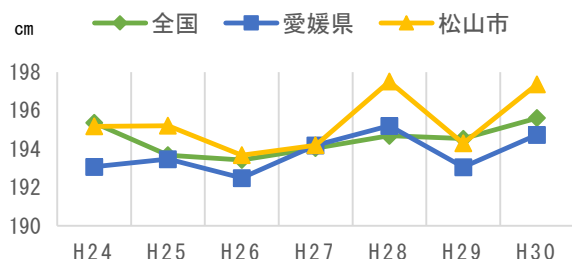
### <50m走>

中学生男子と小学生女子は向上傾向にあるものの、向上傾向にあった中学生女子の数値の低下が心配されます。日常的に走る活動が不足している可能性があり、体育や保健体育の時間だけでなく、放課後や休日の家庭生活の中でも習慣化を図りたい項目です。

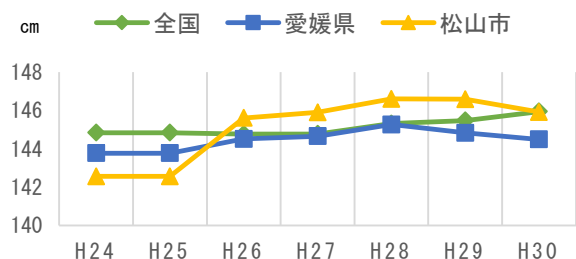
### 立ち幅跳び（小5男子）



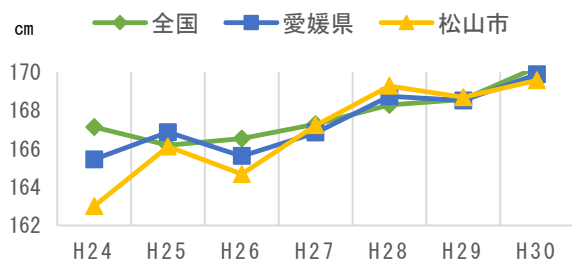
### 立ち幅跳び（中2男子）



### 立ち幅跳び（小5女子）

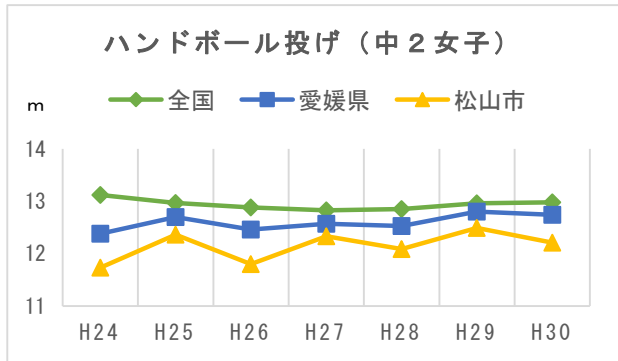
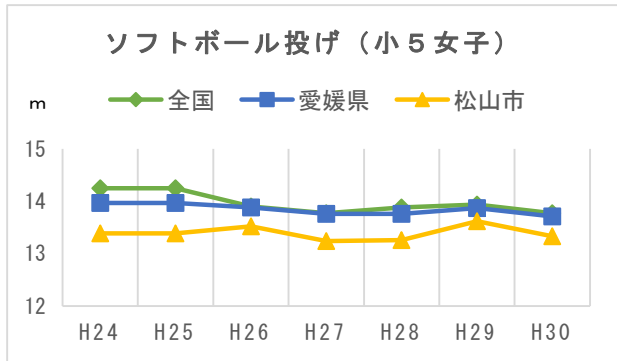
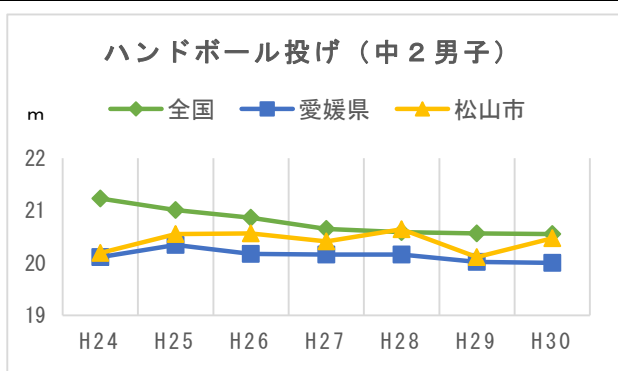
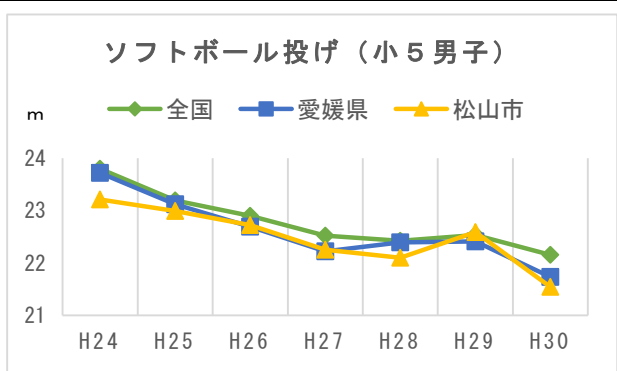


### 立ち幅跳び（中2女子）



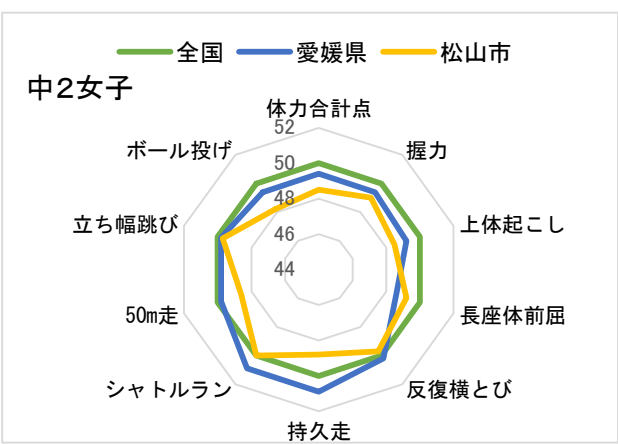
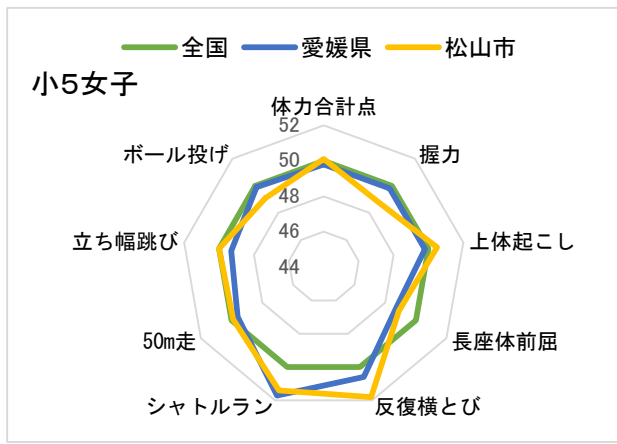
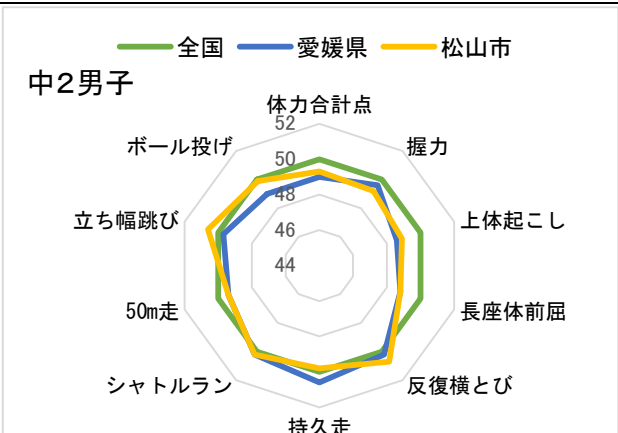
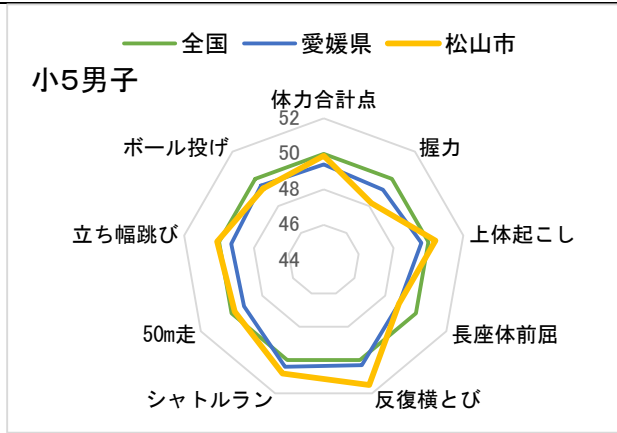
### <立ち幅跳び>

小中学生ともに男子においては全国平均及び愛媛県平均を上回っており、跳躍力に優れていることが分かります。しかしながら、伸びが見られる中学生とは対照的に、小学生の低下傾向が懸念され、全体的な底上げが必要な項目です。



#### <ソフトボール投げ・ハンドボール投げ>

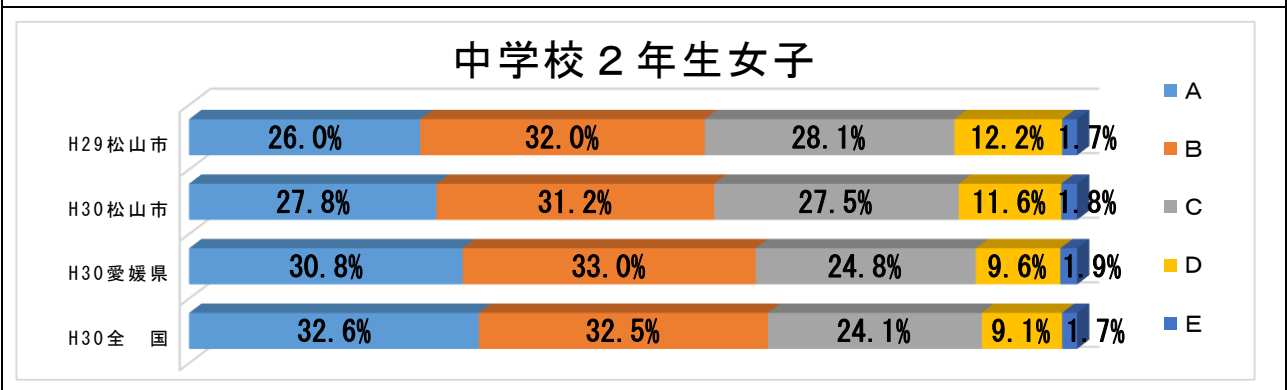
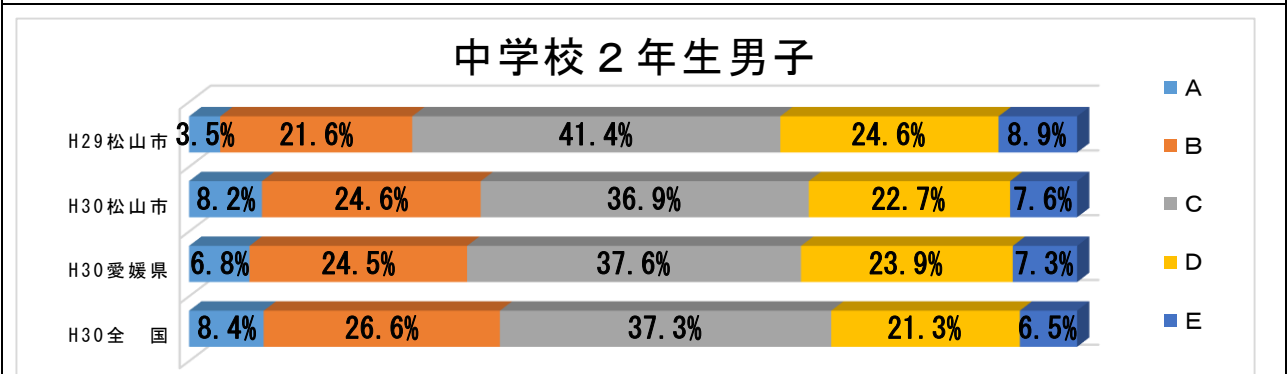
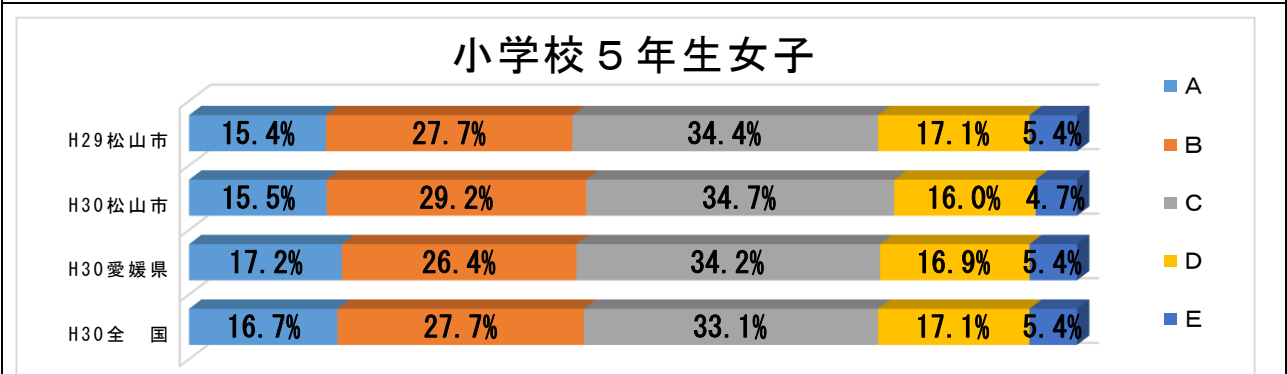
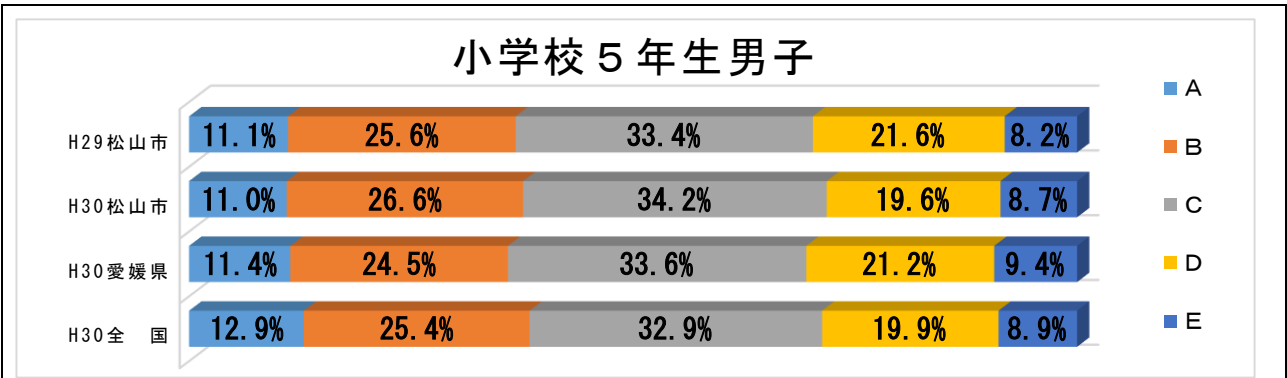
小学生においてはソフトボール投げ、中学生においてはハンドボール投げを実施しています。中学生男子の数値が向上したのみで、全体的に投げる力が弱いことが分かります。特に小学生男子は最低値を示したことから、この項目の底上げが急務と言えます。



#### <レーダーチャートによる比較>

全国平均を50としたときの本市における各項目の高低を表したものです。

3 総合評価（平成 29 年度の松山市平均及び平成 30 年度の全国平均、愛媛県平均との比較）



<分析結果>

- ・ 小中学生ともに A + B の割合が昨年度を上回り、D + E の割合が昨年度を下回ったことから、昨年度と比較して体力の全体的な底上げが図られたことが分かります。
- ・ 小学生及び中学生男子においては、A + B の割合が愛媛県平均を上回り、全国平均とほぼ同水準ですが、中学生女子においては割合の数値は高いものの、全国平均や愛媛県平均に及ばないため、さらなる体力向上のための取組を進めていく必要があります。